

## 北海道 幕別町

### 1 自治体の概要について

幕別町は、十勝の中核都市帯広市など6市町村に隣接しています。北に十勝川、西に札内川、中央部を猿別川、そして南に当縁川が流れ、西方に日高山脈を一望できる、平地や丘陵が広がる豊かな自然に恵まれた地域です。

気候は亜熱帯に属した内陸性気候です。日照時間が年間1,900時間と全国的にも多く、晩秋から春にかけての晴天日数が多く続きます。冬季は道内でも降雪量が少ない地域ですが、冷え込みは厳しく1月中旬～2月中旬にかけては連日マイナス20℃を下回ることも多くあります。しかし、風が弱く晴れるため体感的には過ごしやすい地域といえます。

帯広市に隣接する札内地区、役場庁舎がある幕別地区、平成18年2月に旧忠類村と合併し、忠類地区と市街地が3地区に分かれています。

幕別町生まれのコミュニティスポーツである、パークゴルフは昭和58年に誕生し、12の町営パークゴルフ場があり、中でも「つつじコース」は発祥の地としても知られ、毎年多くのプレイヤーが訪れています。現在、130万人の愛好家がいるとされており、年齢問わず楽しめるパークゴルフは生涯スポーツとして定着し、日本だけではなく、多くの国で楽しまれています。

### 【幕別町の概要】

○人口：25,778人（男性：12,286人、女性：13,492人）

※令和5年3月末時点

○世帯数：12,615戸 ※令和5年3月末時点

○面積：477.64キロ平方メートル

○基幹産業：農業 農家戸数 514戸 耕地面積 21,208ヘクタール

※令和2年農林業センサスより

○高齢化率：31.52% ※令和5年3月末時点

○子ども率（15歳未満）：11.71% ※令和5年3月末時点

○教育：公立幼稚園1、私立幼稚園1、小学校9、中学校5、高等学校1、  
高等養護学校分校1 ※令和5年3月末時点

## 2 重層事業に取り組んだ背景・課題や、取組の理念

### (1) 背景

近年、少子高齢化や人口減少の急速な進行により、人口構造、社会構造が大きく変化をし、8050 問題、介護と育児のダブルケア、ひきこもりや不登校の増加など、全国的にも課題となっている複雑かつ複合化した相談が幕別町においても町民から多く寄せられるようになりました。

これまでも担当者間の情報共有、連携はしてきていたものの、これまでの分野別の対応では、担当者の人事異動時など、より複雑化する問題や制度のはざまにいる町民への課題への迅速な対応が懸念されることもあり、そういったデメリットを排除していくため、重層的支援体制整備事業という制度の中で、複合化・複雑化した相談案件の対応や運用していくことで整理がされました。

### (2) 課題

幕別町では、令和5年度から重層的支援体制整備事業を実施し、会計年度任用職員をコミュニティーソーシャルワーカーとして配置し、コーディネーター役を担っています。

幕別町には社会福祉士などの専門的資格を所持している職員がおらず、保健師、あるいは事務職の経験等からの対応という状況が多くあり、個々の職員に頼り一部に負担が集中せずに関係する支援者が「自分事」として捉え、対応していくために、他課の制度や事業の詳細について、定期的な勉強会などが必要と考えている。

### (3) 取組の考え

これまで以上に横のつながりや、外部機関との連携、情報共有が重要になっています。相談者の属性、世代、相談内容に関わらず、包括的相談支援事業において包括的に相談を受け止め、全ての関係機関が協働して支援をしていきたいと考えています。

### 3 主要な取組事項

相談者の属性、世代、相談内容に関わらず、包括的相談支援事業において包括的に相談を受け止め、重層的支援会議又は支援会議を開催し、各関係機関との情報共有、役割分担を明確化し、多機関協働事業、アウトリーチ等を通じた継続的支援事業、参加支援事業を一体的に実施します。

#### 幕別町重層的支援体制整備事業の支援フロー（イメージ）

- ① 相談者の属性、世代、相談内容に関わらず、包括的相談支援事業において包括的に相談を受け止める。
- ② 包括的相談支援事業が受け止めた相談のうち、単独の支援関係機関では対応が難しい複雑化・複合化した事例は多機関協働事業につなぐ。
- ③ 多機関協働事業は、各支援関係機関の役割分担や支援の方向性を定めたプランを作成し重層的支援会議に諮る。
- ④ 重層的支援会議を通じて、関係機関間で支援の方向性にかかる合意形成を図りながら、支援に向けた円滑なネットワークを作ることを目指す。
- ⑤ また、必要に応じてアウトリーチ等を通じた継続的支援事業や参加支援事業につないでいく。



#### 重層的支援体制整備事業で何が変わるのか

